# 令和３年度第１回厚岸町総合教育会議　議事録

１　日　時　令和４年２月８日（火）　15時00分～16時05分

２　場　所　厚岸町役場庁舎２階庁議室

３　出席者

（構成員）

| | |
|---|---|
| 町　　長 | 若狭　　靖 |
| 教 育 長 | 酒井　裕之 |
| 教育委員 | 田辺　正保 |
| 教育委員 | 濱　　秀利 |
| 教育委員 | 森脇　直美 |
| 教育委員 | 成澤　幸恵 |

（事務局）

総務課

| | |
|---|---|
| 課　　長 | 布施　英治 |
| 総務係長 | 薩田　翔悟 |

（教育委員会）

| | |
|---|---|
| 管理課長 | 田﨑　清克 |
| 管理課長補佐 | 車塚　　洋 |
| 給食センター所長 | 櫻庭　康江 |
| 指導室長 | 廣瀬　　巧 |
| 生涯学習課長 | 早川　知記 |
| 生涯学習課長補佐 | 小池　裕子 |
| 情報館長 | 秋田　裕子 |
| 海事記念館長 | 三浦　博哉 |
| スポーツ課長 | 髙橋　俊彦 |

４　傍聴者　なし

５　内　容

**〇司会（総務課長）**

私は、事務局を担当しております総務課の布施と申します。よろしくお願いします。

それでは、ただ今から令和３年度第１回厚岸町総合教育会議を開催いたします。

初めに、若狭町長から御挨拶を申し上げます。

**〇町長**

皆さん、こんにちは。

コロナ禍の中で、皆様方には日常生活におきましては、大変な不便を強いられている昨今であります。

その中で、本日、第１回目の厚岸町総合教育会議であります。

皆様方におかれましては、厚岸町の教育行政に対して、色々と御支援、御協力を賜っております。心から厚く御礼を申し上げる次第であります。

また、コロナ禍の中で、町内小中学校の一部においても学級・学年閉鎖が起きているわけでありまして、教育委員会と連携を密にしながらそれぞれの対策を講じているところであります。皆様方には大変御苦労をおかけするわけでありますが、何卒子ども達が安心して学校に行けるように御支援をお願い申し上げる次第であります。

さて、ご承知のとおり、総合教育会議の役割というのは極めて重要となっております。全国的にも様々な事件が起きているわけでありまして、私が担当しております教育行政の中でも予算等を含め、様々な支援をしていかなければならないと考えております。特に、私は、教育は厚岸町のまちづくりにおいて原点であると考えております。「人づくりはまちづくり」といった気持ちを持ちながら、今日まで教育委員会と連携を図り、努めてきたところでもあります。

どうかそういう意味において、今日は、それぞれの課題があるわけでございます。

特に、本日は、新年度予算に向けての教育委員会としての考え方について、教育委員会の３課から説明をいただくことになっております。

私といたしましても、先ほどお話ししたとおり、予算面におきましてはしっかりと取り組んで参りたいと考えております。

また、協議事項につきましては、それぞれ皆様のお手元にあるわけでありますが、これからは、私が進行役として進めさせていただきます。どうかよろしくお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

今日は、本当にありがとうございます。

**〇司会（総務課長）**

先ほど、町長からお話がありましたとおり、本日の会議の進行につきましては、厚岸町総合教育会議設置要綱に基づき、町長が議長となり進めていただきます。

**〇議長（町長）**

それでは、既に皆さんのお手元には会議次第がありますので、次第に基づきまして議事を進行して参ります。

まず、「(1) 各課等の所管事項説明について　ア　町内小中学校におけるＧＩＧＡスクール構想　一人一台タブレット端末の活用状況について」を提案させていただきます。協議のほどよろしくお願いを申し上げます。

**〇教委委員会（管理課長補佐）**

(1)のア「町内小中学校におけるＧＩＧＡスクール構想　一人一台タブレット端末

の活用状況について」に基づき、その内容を説明させていただきます。

■３　説明・協議事項「ア　町内小中学校におけるＧＩＧＡスクール構想　一人一台タブレット端末の活用状況について」
配付資料１により内容説明

**○議長（町長）**
今、事務局から説明がありましたけれども、各委員の皆さまから何かあればお受けいたしますが、いかがでしょうか。

**○田辺委員**
ＧＩＧＡスクール構想に基づきましては、厚岸町でも遅れることなく、一人一台の端末整備あるいは学校におけるＬＡＮ環境の整備について、予算付けいただいた上で速やかに取り組んでいただき、感謝申し上げます。
私どもも、学校に出向いて活用方法を見ておりますけれども、新しい取組がなされているなということを実感しております。
また、コロナ禍における感染症対策という面においても、各家庭と学校を結ぶ形で使用しているという現在の状況も踏まえ、この整備による効果も表れてきているのではないかと思っております。特に、設備面が充実してきているということに加え、その取組についても各学校で知恵を出し合いながら活用いただいておりますが、単にタブレット端末を渡すだけではなく、それを活用してより効果的にどのようなことができるのかということが重要であると思っておりまして、学校側においても活用方法等について新しい取組なので大変な部分もあるかと思いますけれども、教育委員会事務局を通じて各学校に対し、指導体制の充実についてお願いしているところでもありますので、御理解をいただきたいと思います。

**○議長（町長）**
他にございますか。

**○濱委員**
各学校における取組は、それぞれ良くやっていただいているということは理解できました。その中の提案として、今後、全町的な取組の中で、町内の各小中学校が集まって、何か一つテーマを決めて発表する場を設けてみてはどうかと思っております。共通したテーマを基に、各学校の取組に対する考え方をそれぞれ聞いて学ぶことで、それぞれのスキルも向上していくことも期待できますし、競争意識を持った中で積極的にタブレット端末に取り組もうという姿勢を見せられるような取組も考えていければ、各学校においてタブレット端末に対する認識もより深まると思いますので、そのような仕組みも作っていただきたいと思います。

**○議長（町長）**

教育委員会事務局から、今の濱委員のご質問に対して、何かありますか。

**〇酒井教育長**

これからの課題は、まさに各学校でのＩＣＴ化の充実をどのように進めていくのかということが重要であると認識しております。

例えば、各学校の先生方で構成されている厚岸町立教育研究所があります。その中でいくつかテーマを設けてグループ協議のようなことを行っております。そのテーマの一つの中に全町的に学力向上をどのように図っていくのかということを行っている部門もありますので、そのような場で、ＩＣＴを活用してどのように学力向上を図っていくのかということを検討する方法もあります。

また、これは指導室が所管しておりますが、各学校における教務主任あるいは研修主任だけが集まる会議があります。そのような場で、今、お話のあった内容を投げかけて、全町的な課題として、中核的な人材に活躍していただくといった手法も考えられます。いずれにいたしましても、学校任せではなくて町全体の取組として、今後、どのように具体的に進めていくことが効果的であるのかという部分も含めて、教育委員会としても重要なことであると認識しておりますので、御意見をありがたく伺わせていただきました。

**〇議長（町長）**

他にございますか。

**〇森脇委員**

各学校における取組は、とても素晴らしいことであると思っております。少し違った観点からの質問なんですが、各学校によって学ぶことも違うので、覚えることにも差が生じてくるのではないかと思うんです。国あるいは町として、基本的にこのような部分は学習してくださいとか、このようなことは身につけてくださいとか、統一された見解というものはあるのでしょうか。

**〇教委委員会（指導室長）**

タブレット端末の使用の仕方についてですが、特にここまでできるようにといった定まったものはございません。各市町村あるいは各学校によって、様々なタブレット端末がありまして、その種類によって操作方法が異なる部分が多くあります。しかしながら、学習の中で考えをまとめたり、表現したりといった方法については学ぶことができます。この辺りについてはタブレット端末を使用して発表したり、意見の交流をしたりといったところにおいては､同じような学びができるものと考えております。

また、基本的な線と言いますのは、先ほど管理課長補佐から説明がありましたが、小学生においてはプログラミング的な思考の育成に関する水準が設けられておりますし、中学生においては情報活用能力、情報モラルについて扱うということが、学習指導要領に示されておりますので、それに準じた活動を行っているところであります。

**〇森脇委員**

中学校では、技術の教科書の中で取り上げられていると思うのですが、将来的には小学校でもプログラミングの思考に関する部分の統一的なものが出てくるのではないかと思っております。そうでなければ、各学校や各先生のスキルなどによって差が出てくると思いますので、少し心配をしておりました。

**〇教委委員会（指導室長）**

プログラミング的な思考で扱うものというのが、実はタブレット端末の操作方法を学ぶものではなくて、思考力という部分で、そのプログラムが進んでいくのは、「順次」、「分岐」、「繰り返し」といった一連の流れを組み合わせることで、どのように思い通りに操作させるのかというような思考力を育成する部分がありまして、これを頭の中だけで考えるのではなくて、実際に何かを動かしたり、操作したりすることで身につけさせようと、これを算数であったり、時には家庭科であったりというような教科によって扱っていく、それから、高学年ではなく低学年から、このようにすれば動くんだというものが世の中にあるということについて､学んでいくことになります。このほか、タブレット端末の使い方や活用については、委員おっしゃるとおり、指導者のスキルによっては伝わる内容に差が出てくることが考えられますので、そこを埋めていくところの研修あるいは啓発については、教育委員会としても今後もこれらを進めて、先生方のスキルの向上を目指していく必要があると考えております。

**〇議長（町長）**

他にございますか。

**〇濱委員**

先ほどからお話にありますプログラミングについては、まだはっきりとしたものが決まっていない中で、先生自らが学習を通じて子ども達に教えていくことはとても大変ではないのかなと理解しておりますし、負担があるものと思います。そこで、町の取組として、予算が伴うものではありますが、外部講師を取り入れてみてはどうかと思います。いち早くそのようなものに触れさせるのであれば、プロに任せるのが一番早いのではないかと思いますので、是非とも予算措置を検討いただき、プログラミングについては外部講師にお願いすることも一つの方法ではないかと思いますので、ご検討いただくようよろしくお願いします。それと、児童生徒がタブレット端末に馴れていくためには、勉強に特化したプログラミングでは取っ掛かりにくいと思いますので、各学校対抗のゲーム大会であるとか、プログラミングを使ったオリジナルゲームを作って大会を開催したりなど、子どもが興味を抱くような取組も検討していただきたいと思います。

**〇議長（町長）**

このことについて、教育委員会事務局から何かありますか。無いようですので、私からも付け加えさせていただきますが、このタブレット端末については、学校教育の

教材としては大きな改革でありまして、本町でも釧路管内においては早い段階で取り入れたわけであります。先ほど、濱委員が言われたように、タブレット端末を整備したのにもかかわらず､教える立場の人間を育てることが難しいという現実があります。ですから、専門家を呼んで先生方に活用方法等を教えていただくことも大事なことではないかと思っております。指導室長、現在の現場の状況はどのようになっていますか。

**○事務局（指導室長）**

各先生によって個人差はありますが、学習の中でツールとして使うという点において子ども達に教える部分は、一定水準保たれているものと思います。しかしながら、プログラミングができるかどうかといった部分については、学習の内容としては問われておりませんけれども、そういった部分については、やはり個人差はあるのではないかと思います。

**○議長（町長）**

それでは、今の意見については検討課題として、教育委員会で協議しながら対応をして参りたいと思いますので、よろしくお願いします。他に何かございませんか。

（意見なし）

**○議長（町長）**

それでは、続きまして(1)のイの「アッケシソウの人工栽培計画について」を議題とさせていただきます。

事務局から説明をいただきたいと存じます。

**○教委委員会（生涯学習課長）**

■３ 説明・協議事項「イ　アッケシソウの人工栽培計画について」

配付資料２により内容説明

**○議長（町長）**

ただ今の説明に関しまして、お尋ねの点がありましたら発言をいただきたいと思いますが。ございませんか。

**○濱委員**

アッケシソウということでお話させてもらうと、先般、教育委員会で郷土館前のアッケシソウを視察させていただいたときに、アッケシソウは食べられるということを聞いて実際に味見をさせていただきました。そこで、アッケシソウの食用化に向けて栽培してみてはどうかと思っていて、例えば、コンキリエ等でこれを使ったメニューを考えると地場の名前が付された商品としても面白いのかなと思っていますので、教

育委員会とは関係がない部分かも知れませんが、意見として発言させていただきました。

**○議長（町長）**

ただ今の御意見に対して、担当課として何かありますか。

**○教委委員会（生涯学習課長）**

私も昨年のアッケシソウを食べてみましたが、割と塩っ気が強いもので苦みも少なく、昔はフランス料理の付け合わせに使われていたという経過もあるそうです。これらも栽培していきながら食用化についても検討していきますが、まずは安定して生育できるような環境整備をすることが重要と思っておりますので、後に、活用方法の一つとして考えていきたいと思っております。

**○議長（町長）**

私からも付け加えさせていただきますが、実はアッケシソウは絶滅危惧種であります。確かに、フランス料理では最高級の食材であることは事実であります。現在では、厚岸町におきましてもお酒のジンや化粧品等にアッケシソウのエキスが入っていることの説明書きがされている商品もあります。ところが、今言ったように絶滅危惧種を果たして使えるかどうかという話をしていましたが、実際に活用されているということも事実であります。ですから、そういう部分も含めて検討が必要ではなかろうかと思っております。

また、現在、アッケシソウは、世界各地に存在しておりますし、国内でも多く存在しております。ただ、なぜ尊いものかと言うと、世界的にもアッケシという学名が付いているものはいくつかはありますが、その一つはアッケシソウであります。世界的にも誇れるものでありますし、厚岸町にとっても、大変貴重なものであります。

**○田辺委員**

本当に町長がおっしゃるように、アッケシという学名が付いているものでありますから、この厚岸町の地で全くなくなってしまうのは避けなければならないので、少しでも残して大切にしていかなければならないものと思っておりますし、今、教育委員会においても取り組んでいる部分でもありますが、生育環境をどのように行っていくのか、あるいは、何が必要であるのかという部分も考える上でもデータを取りながら進めていくということも重要であると考えております。

また、観光面で考えていくと、網走市卯原内の能取湖のように、現状では観光資源として活かしていくというような段階ではないのかも知れませんけれども、学者などから一目置かれるように厚岸町にも来ていただき、アドバイスをいただけるような位置付けの中で大事に育てていかなければならないと思っておりますので、それには手をかけていかなければならない現状がありますので、そういう意味においては予算的な部分も含めて御支援をいただければなと思っております。

**〇議長（町長）**

この点についても私から御意見を申し上げたいと思います。アッケシソウを保護することは最も重要なものになります。そういう意味におきましても過去にも栽培の経過について、先ほど説明がありましたけれども、私自身は、保護はもちろんのこと、厚岸町の一つの観光資源としても活かしていきたいと考えております。

また、先ほどお話しさせていただきましたとおり、世界的にアッケシという学名が付いた「アッケシソウ」ですから、厚岸町に来られる人によっては関心があると思っております。特に、網走市の卯原内が大きな観光資源となっています。ですから、現在、厚岸町で考えておりますのは、試験栽培ですからこの程度で良いと思ってはいますが、将来的には、大きな観光資源になるように敷地も考えながら進めていくべきであると考えております。ですから、そういう面では、東梅まで行くと昔からあるアッケシソウを見ることができるのですが、船で行かなければならないので、観光者に説明する際には「向こうにありますよ」程度の話になっているのが現状でありますので、陸上から見ることができるようにしたいと考えているところであります。これまでの間、生涯学習課を通じて、日本財団の助成金を活用して試験的に様々取り組んではいたものの、生育等を成功させることはできなかったわけでありますが、最終的には網走市の卯原内のアッケシソウ復活に携わった東京農業大学の准教授の力を借りて本町においても色々と調査をいたしているところであります。ですから、今段階でははっきりと言えませんが、保護と観光資源としての効果が表れてくるのではなかろうかと大きな期待を持っております。

それともう一つ、実は、アッケシソウがサンゴ草とも言われております。網走市の卯原内でもそうであります。それでマスコミ等も常に報道等でサンゴ草と言っておりましたが、やはり、正式な名称は「アッケシソウ」ということで私からマスコミ等にも強くお話させていただきました。今日では、おかげさまでマスコミ等も含めて網走市の卯原内でも「アッケシソウ」と記載がされておりますが、ようやく認知がされてきたなと思っております。

**〇議長（町長）**

その他ございませんか。それでは、よろしいでしょうか。

（意見なし）

**〇議長（町長）**

それでは、続きまして、(1)のウの「スポーツ活動の推進　スポーツ合宿について」を議題とさせていただきます。

事務局から説明をいただきたいと存じます。

**〇教委委員会（スポーツ課長）**

■３ 説明・協議事項「ウ　スポーツ活動の推進　スポーツ合宿について」

配付資料３により内容説明

**○議長（町長）**

ただ今の説明に関しまして、お尋ねの点がありましたら発言をいただきたいと思いますが。ございませんか。

それでは、御意見がないようですので、私の行政側からの意見を申し上げさせていただきたいと思います。ＪＲ東日本野球部の方々に来町いただき、本町のグラウンドは大変良いグラウンドであるとの評価を受けております。

また、先ほど教育委員会事務局から説明がありましたとおり、釧路市民球場に次ぐ宮園野球場は極めて評価が高いわけでありまして、私も大変驚いております。私なりに考えると宮園野球場含めてその周辺は谷地ですから、地盤が強くなかったわけであります。これまでの間、整備を行ってきて良かったなと思っているところであります。特に、ＪＲ東日本野球部は、プロ野球選手を輩出しているチームでもありますし、都市対抗野球においても強豪で、常にベスト４に入るくらいのチームであります。ただ、残念なことに以前、首都圏の大学野球部が宮園野球場で合宿をしたいということで、１年間やっていただいたわけでありますが、宿泊の問題と、やはりスポーツ選手なので食事が大事であります。それで、町内の宿泊施設に滞在していただいたわけでありますが、宿泊場所から宮園野球場までの距離が遠い点と、食事が期待に応えられなかったということで１年で終わってしまい、とても残念に思っております。そういう点において、これからそれぞれの強豪チームを厚岸町に迎え入れる際の対応をすることによって、厚岸町への経済効果もあるのではなかろうかと思っております。

それと同時に、冬期間、スポーツができない本町において、その役割もこの度建設する多目的屋内スポーツ施設が担ってくれるであろうと期待しております。

**○議長（町長）**

それでは、「(3) その他」ございませんか。何かありますでしょうか。

（意見なし）

**○議長（町長）**

それでは、本日の総合教育会議については、以上を持ちまして終了させていただきます。

委員の皆さんの知恵をお借りしながら、厚岸町の教育をより良いものとしていきたいと思っております。今後とも教育委員会と連携を図りながら、皆さん方のご期待に添える厚岸町の教育を育てて参りたい考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げまして私からの終了の挨拶とさせていただきます。

今日は、本当に御苦労様でございました。

**〇司会（総務課長）**

以上をもちまして、令和３年度第１回の厚岸町総合教育会議を終了いたします。

なお、次回の総合教育会議は、協議及び事務の調整が必要となった場合に、開会することといたします。